

選挙戦略を聞く

INTERVIEW

3

公明党・高木陽介選対委員長

安保、地に足つけ議論

インタビューに答える公明党・高木陽介選対委員長



見過ごせない

—安保政策の主張は。

「ロシアのウクライナ侵攻に加え、ミサイル発射を繰り返す北朝鮮は新たな核実験も取りざたされる。理想は持ちながら、現実の安保環境の中でどのような手が打てるのか、地に足のついた議論をしなければいけない」

—憲法改正に前向きな勢力による参院3分の2以上の議席確保は重要か。

「3分の2確保するかどうかはあまり意味がない。野党第1党も含めて熟議、合意した上で堂々と改憲案を発議すべきだ」

—参院選で目指す議席数は。

「擁立した7選挙区の完勝。比例代表は800万票を掲げて7議席獲得し、現有14議席の確保が目標だ」

「7選挙区のうち埼玉、神奈川、愛知、兵庫、福岡の五つを重点区と位置付けた。特に兵庫は厳しい。昨年の衆院選の影響で準備が遅れているが、今までの倍のスピードで取り組むしかない」

「一括で推薦した過去2回とやり方が違う。今回はまず自民が5人に出し、公明は32の改選1人区を中心

「一部で推薦した過去2回とやり方が違う。今回はまず自民が5人に出し、公明は32の改選1人区を中心

「野党共闘が崩れつつあるが。野党の分裂に安心していると足をすくわれるかもしれない。自民には1人区を確実に固めてもらいた

「物価高騰対策の中で、中小企業を含めた国民全体の賃金の上昇をどうするか。高齢者の認知症やヤングケアラーの問題、教育の負担軽減や安全保障問題も